

ユーザー訪問 **メイプル薬局●静岡県**

レセコン『Recepty』で業務効率が大幅にアップ

薬剤師の専門性を前面に出し、服薬指導に注力するためには研修・教育の制度化とともに、機器・システムの充実も重要だ。静岡県内で薬局をチェーン展開するメイプルは、レセコンをEM システムズの『Recepty』に切り替え、業務の効率化を図った。

静岡県内の富士宮市、富士市などを中心に9店舗の薬局を運営

「もともと薬局を経営しようとは思ってはいなかったのです。しかし、多くの先生方の後押しがあって、調剤・服薬指導を担う立場で、患者さんのお役に立つことができるようになりました。つくづく、“人と人との縁”を感じますね」静岡県内の富士宮市、裾野市、三島市、富士市、沼津市で薬局を運営するメイプル（本社：富士市）社長の遠藤篤氏はこう述懐する。

遠藤氏がMR（医薬情報担当者）として製薬企業に勤務していた当時、自身の故郷である静岡県で、医師や製薬会社を会員とする消化器内視鏡研究会を立ち上げた。その活動の中、多くの医師と知り合うようになり、あるとき、ある医師の開業に合わせ、薬局の開設を依頼されたのを契機に独立。1996年12月、1号店「メイプル薬局 若の宮店」（富士市）を開局した。「出身地の静岡だったら、成功させることができるかもしれないと思いました」と遠藤氏は振り返る。以来、

個人の病・医院に近接するかたちで開局していき、現在、9店舗まで拡大した。

2002年には、リハビリ用具や車椅子、ポータブルトイレなどの販売・レンタルを行う「介護ショップ メイプル」



1日200～300枚の処方せんを応需する「メイプル薬局 若の宮店」（富士市）と同店のスタッフの皆さん



昨年、竣工したメイプルの本社ビル。1階に「介護ショップ メイプル」を併設している

も開設。また最近では、特別養護老人ホームなどの老人福祉施設に薬剤を配達するなど、文字通り、地域に密着した薬局として地歩を固めている。

薬剤師機能をフルに発揮するために、機器・システムの充実が不可欠

薬剤師機能をフルに発揮し、調剤技術料をベースに経営していきたい——。遠藤氏の根幹にある考え方だ。それを実現するには、「質の高い調剤・服薬指導を行うための教育・研修を制度化することはもちろん、機器・システムを充実させ、業務の効率化を図ることも重要」（遠藤氏）となる。



メイプル社長の遠藤篤氏

「実は1号店を開設した頃は、レセプトコンピュータからの印刷に大変時間がかかっていました。そこで、EMシステムズのレセコン『Recepty』に切り替えたところ、大幅に時間が短縮され、しかも使い勝手がよく、薬剤師、経営者それぞれに対する支援ツールも豊富なため、大変満足しています」と遠藤氏は語る。

『Recepty』は、処理効率を高める入力支援機能や、在庫効率を飛躍的に高める在庫管理システム、各種経営分析機能など、多彩で使いやすいツールが備わっていることで定評のあるレセコンである。また、薬袋プリンターの紙詰まりなどの不具合が生じたときも、EMシステムズのサポートは迅速かつ的確で、その点も同社に寄せる信頼が厚いものとなっているようだ。

さらに業務効率化の次なる一手として、電子薬歴システムの導入も検討しており、その候補として、EMシステムズの『Navity』を真っ先に挙げる。『Navity』は、基本機能だけでなく、服薬指導に役立つツールを多く搭載した電子薬歴システムであり、メイプルの経営哲学に合致したものである。